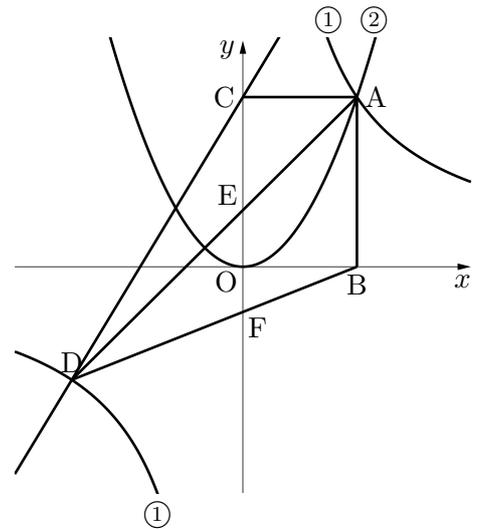


【基本】右の図において、曲線①は反比例  $y = \frac{6}{x}$  のグラフであり、曲線②は関数  $y = ax^2$  のグラフである。点 A は曲線①と曲線②との交点で、その  $x$  座標は 2 である。点 B は  $x$  軸上の点で、線分 AB は  $y$  軸に平行である。点 C は  $y$  軸上の点で、線分 AC は  $x$  軸に平行である。また、点 D は曲線①上の点で、その  $x$  座標は  $-3$  である。原点を O とするとき、次の問いに答えなさい。



- (ア) 曲線②の式  $y = ax^2$  の  $a$  の値を求めなさい。
- (イ) 直線 CD の式を求め、 $y = mx + n$  の形で書きなさい。
- (ウ) 線分 AD と  $y$  軸との交点を E、線分 BD と  $y$  軸との交点を F とし、三角形 DFE の面積を  $S$ 、四角形 AEFB の面積を  $T$  とするとき、 $S$  と  $T$  の比を最も簡単な整数の比で表わしなさい。

〔神奈川〕